

開通前の段階における災害時の活用

○住民の避難路や緊急車両の交通路として活用することで、開通前の段階より地域の防災機能を強化。

- 南海トラフによる津波浸水などの災害が発生した場合、工事用道路や法面点検階段などを活用し、住民が高台や本線へ避難可能。
- 今後の工事進捗に伴い、本線概成区間と工事用道路を活用し、現道の浸水区間を回避し、緊急車両の到達可能範囲が順次拡大。

(※すさみ串本道路に並行する国道42号現道が災害により通行不能となった場合)

■整備状況(R7.11月末現在)

